

作物栽培管理情報

令和7年10月号
大分県中部振興局 生産流通部 集落営農・水田畑地化班

水稻

◎令和7年産の生育概況

今年は例年に比べ梅雨が短く高温多照の日が続き、出穂期は平年より早くなり、成熟期が早まる見込みです。成熟期の予測は下表を参照して、収穫の準備は早めに行いましょう。

10月は台風襲来の子節です。台風接近が予測される場合は稲体の損傷や脱水を軽減するために、畦畔崩壊のおそれがない場合に限って深水湛水しましょう。

〈令和7年産水稻の成熟期予測〉（令和7年9月24日現在）

※アメダス大分〔標高4.6m〕の気象データによる予測です。

品種	出穂期	成熟期	品種	出穂期	成熟期
なつほのか	8月10日	9月18日	ヒノヒカリ	8月10日	9月25日
	8月15日	9月24日		8月15日	9月30日
	8月20日	9月30日		8月20日	10月4日
	8月25日	10月7日		8月25日	10月9日
	8月30日	10月14日		8月30日	10月14日

※成熟期予測は、9月24日までの当年気温と9月25日以降の平年気温を基に予測しています。
ただし、今年の10月も昨年同様高温が予想されるので予測よりも早まる可能性があります。

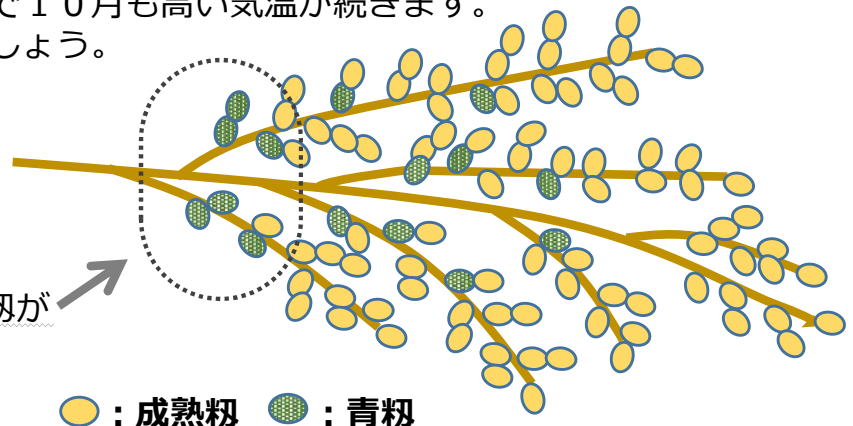
※上記は目安です。圃場を確認し、青粉率20%で収穫しましょう。

◎適期収穫で品質向上 刈り遅れに注意！

- ・収穫が早くても遅くても品質低下、減収につながります。
- ・適期に収穫を行い品質の向上に努めましょう。
- ・気象庁の3ヶ月予報によると、高確率で10月も高い気温が続きます。
刈り遅れによる胴割れ発生に注意しましょう。

◎水稻の収穫適期の判定

- ・収穫適期は籾の色で判断します。
- ・収穫の目安は青粉率20%。
- ・青粉率20%の目安としては、
下側2本の枝梗の根本から3粒程度に青粉が
残っている状態です。



◎土壌診断

- ・土壌診断のための検査に提出する土は収穫直後の圃場のものが理想です。最近、収量が減ったなど気になる方は是非行ってください。
- ・土は圃場の5カ所程度から採ったものを混ぜた生土を500g程度検査に出します。
- ・JAの組合員は、JAに依頼すれば安価で診断できます。

裏面へ

大豆

◎ 収穫準備

ヒユやホオズキ等の雑草や青立ち株は、必ず収穫前に抜き取りましょう。コンバイン内で青立ち株や雑草の汁が大豆に付着し汚損粒の原因となります。

◎ 難防除雑草対策

～雑草の種子をほ場内に残さない！～

難防除雑草の蔓延が問題になっています。

○ 蔓延を防ぐポイント

- ・ 雑草が開花、結実前に防除し、種子を作らせないようにしましょう。

○ 圃場内で見つけたとき

- ・ 早急に刈り取り・抜き取りを行い、防除しましょう。
- ・ 抜いたり刈り取った株でも種子が後熟し、発芽能力を持つことがあります。
- ・ 抜き取ったり、刈り取った雑草は放置せずにはほ場の外に持ち出してください。



ホオズキ類



アサガオ類



ツルクサ類

収穫機械の点検整備

- ・ 収穫作業に使用するコンバインは久しぶりの稼働となります。稼働前に購入時に添付された説明書等に沿って、事前にしっかり点検することで、収穫作業時のトラブル回避につながります。機械に詳しくない方は販売店に相談することもひとつの方法です。
- ・ また、収穫作業がすべて完了し、長期間格納する前にもしっかり掃除・点検を行ってください。



☆ 周辺に配慮した農作業を！

トラクターやコンバインでの圃場作業後、公道を走行する前にタイヤ等についた泥は圃場内で落とし、公道に泥を落とさないよう注意しましょう。住宅地付近での早朝や深夜の作業の際には、騒音等への配慮をしましょう。

☆ 農作業中の事故に注意！

トラクターの転倒事故や整備中の事故、手こぎ中の事故の事例があります。農作業はあわてず、あせらず行い、安全確認を徹底し事故に十分注意しましょう。



農業情報メール配信の登録募集！

～米・麦・大豆の栽培管理情報をいち早くキャッチしよう！～

★ 登録方法 ★

配信受付（スマート申請システム）

<https://ttzk.graffer.jp/pref-oita/smart-apply/surveys-alias/nougyouzyouhou>

上記のアドレスまたはQRコードからアクセスし、メールアドレス等の必要事項を入力してください。後日、農業情報をメール配信します。

